

三原の家 ～茶室のある離れ～



三原の家

■ご要望及び条件

80年の時を経た歴史ある純和風建築の改装。
新旧の融合が、新しい付加価値を加えた格調高く優雅な家になりました。
曾祖父が庭を見る為に「母屋に隣接する離れ」として建てられた歴史ある家屋。
「一部茶室を取り入れ、リビング的に活用したい」というご要望でした。

■コンセプト及びご提案のポイント

以前の6帖と8帖の和室は広縁と一体化し、天井を高くする事で、開放感のある空間が完成しました。
化粧梁と跳出天井の光源を見せない配灯の工夫や、床柱・欄干・書院などは、既設材を活かしました。
また、床の間の大谷石・名栗加工の床・アジロ天井・市松壁から、
2脚の北欧の椅子に至るまでお施主様と一緒にこだわりました。
使い勝手を兼ね揃えた上品な質感とディテールを組み合わせ、トータルの空間デザインに配慮しています。

■主たるインテリアエレメント

床：松材 170 幅 名栗加工 ニッパンイクス
壁：珪藻土塗り シルクテックスR 刷毛引き仕上げ 四国化成
吹抜天井：アジロ杉柱斜め市松、図面付三方貼半縁 横山竹村店
茶室天井：付ゴ天井 秋田杉塗、桧貼丸太 横山竹村店
床の間（大）：丸萩半割 横山竹村店、大谷石 KANEHON
床の間（茶室）：焼竹アジロ 横山竹村店。
珪藻土 マルファス銀波神元 四国化成
畳：夢路（いちまつ）天然い草 ライフネット銀波
組子：オリジナル組子 吉原木工所
照明器具：コイズミ照明
インテリア：The Circle chair PPI30 PPMOBLER 社 DENMARK
The Hunting Chair FREDERICIA 社 DENMARK

■工事前写真

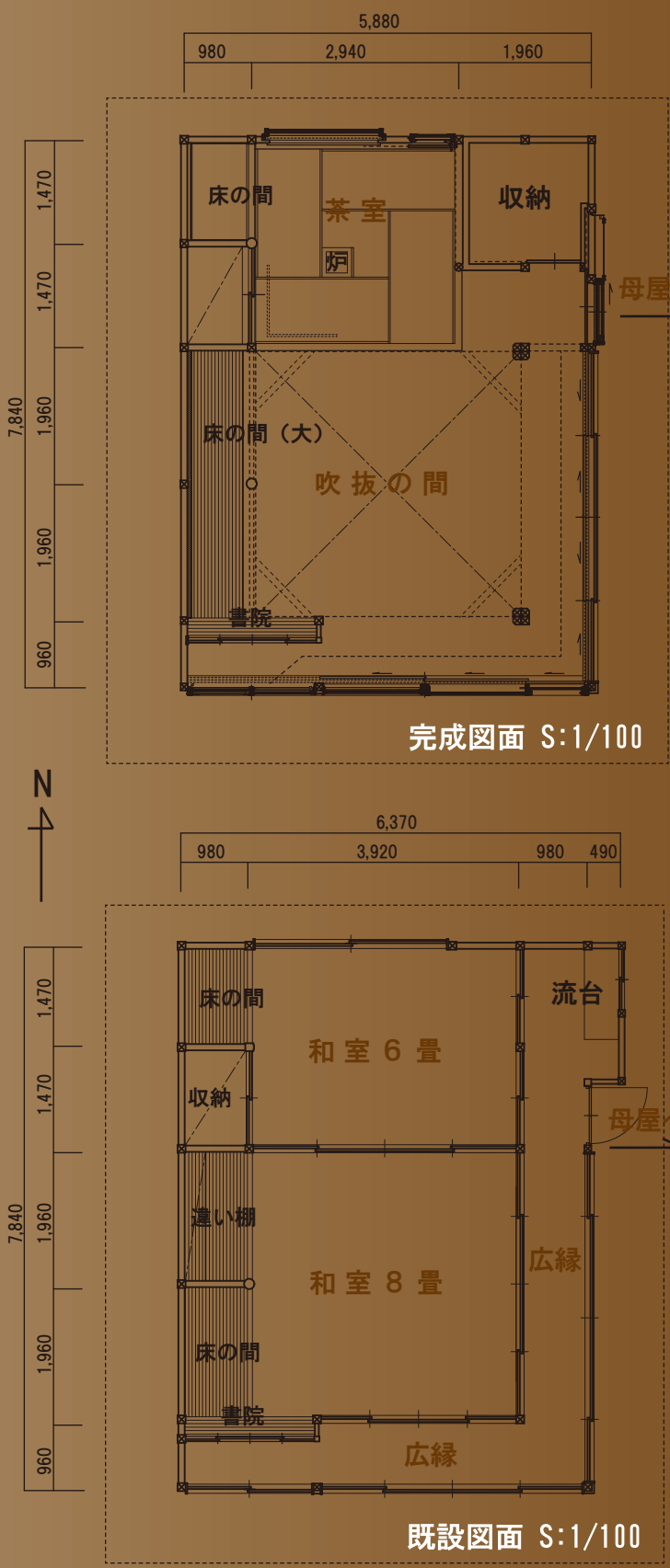


■建築概要

施工面積：47.06㎡
建築場所：広島県三原市
竣工：平成26年6月

■概算予算

1,045万円



広縁と一体化した部屋。組子障子戸越しに庭が見える。北欧の巨匠、ウェグナーとモーエンセンの椅子が美しく調和。
また、床の間（大）の壁には、表情の豊かな大谷石を利用して、空間にモダンな表情と締めを与えている。



吹き抜けの間に繋いだ茶室。光源を隠した明かりでシンプルに。茶室への区切りに小上りを設けた事で、腰を掛けて南の庭を眺める事も出来る。茶室の右側には、様々な道具や物を入れる収納を併設。



茶室の床の間。床柱、床框、落掛けは、移設して利用したもの。
壁には、金色の珪藻土で仕上げ、間接照明で柔らかく照らしている。